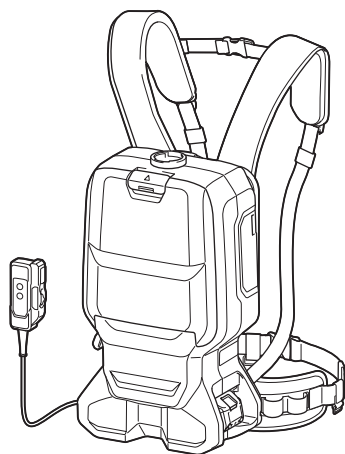


Makita

取扱説明書

充電式背負集じん機

モデル VC665D



このたびは充電式背負集じん機をお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。
ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本製品の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただき、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。



もくじ

簡易マニュアル……………別紙

主要機能……………2

安全上のご注意……………3

充電式背負クリーナ／集じん機の使用上のご注意…11

ワイヤレスユニットの使用上のご注意…13

各部の名称……………15

標準付属品……………16

別販売品のご紹介……………17

バッテリー（別販売品）について……………18

本製品の装着……………20

・ホースバンドの使い方

電動工具との接続……………23

・ホースの接続
・フロントカフスの交換

スイッチの操作……………24

無線連動機能……………25

- ・ワイヤレスユニット (A-66151) の取り付け・取りはずし方
- ・無線連動の準備
- ・無線連動
- ・機器登録
- ・登録解除
- ・登録全消去
- ・トラブルシューティング

フィルタについて……………34

- ・ちり落とし機能
- ・フィルタの取りはずし方・取り付け方
- ・フィルタのお手入れ

紙パックおよびダストバッグ(別販売品)について…37

- ・紙パックの交換方法
- ・ダストバッグの取り付け・取りはずし方
- ・ダストバッグのゴミの捨て方

お手入れ……………40

- ・本製品のお手入れ
- ・ダストボックス内のお手入れ

運搬・移動……………43

保護機能……………44

・本製品およびバッテリーの保護機能

故障かな？と思ったら……………45

主要機能

主要機能 \ モデル	VC665D	
電動機	DC ブラシレスモータ	
電圧	直流 36 V (18 V × 2)	
使用可能バッテリー *2	BL1815N BL1820B BL1830 BL1830B	BL1850 BL1850B BL1860B
最大風量	1.8 m ³ /min	
最大真空度	11.0 kPa	
最大吸込仕事率	パワフル：85 W 標準：45 W	
集じん容量	紙パック：6.0 L ダストバッグ：5.5 L *2	
連続作業時間 *1 (BL1860B × 2 個装着時)	パワフル：約 40 分 標準：約 75 分	
本製品寸法	長さ 297 mm × 幅 174 mm × 高さ 523 mm	
質量 (BL1860B × 2 個装着時)	6.7 kg	

- ・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

*1：時間は参考値です。バッテリーの充電状態や作業条件により異なります。

*2：別販売品

バッテリーアダプタ類について

- ・ 本製品はバッテリーアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

警告

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

注意

：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注

：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本機に挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
 - ・ 本機の調整
 - ・ 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - ・ 保管、または修理
 - ・ 電動工具から離れるとき
 - ・ 本機の受け渡し
 - ・ その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - ・ 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - ・ 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - ・ バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - ・ 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - ・ 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - ・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - ・ 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - ・ 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - ・ 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - ・ 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - ・ 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - ・ 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを挿し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - ・ スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを挿し込むと事故につながります。

⚠ 警告

2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリーを周囲温度が 50℃以上になる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。

- ・ 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- ・ 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています（右図の○部分）。



16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。火傷、低温火傷の原因になるため注意してください。

- ・ 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているため火傷の恐れがあります。

17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。

- ・ 性能が低下したり、故障の原因になります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- ・ 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- ・ 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- ・ 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- ・ 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- ・ 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。

<異常・故障例>

- ・ 本機やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本機やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。
- ・ スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。
- #### 2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
- #### 3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。
- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。
- #### 4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。
- ・ 爆発や火災の恐れがあります。
- #### 5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。
- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
 - ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
 - ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。
- #### 6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。
- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。
- #### 7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。
- #### 8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

9. 正しく充電してください。

- ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ 周囲温度が 10℃未満、または周囲温度が 40℃以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

先に電動工具としての共通の注意事項を述べましたが、充電式背負クリーナとして、さらに次の注意事項を守ってください。

⚠ 警告

1. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店、または当社営業所に点検・修理をお申し付けください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
2. 可燃物が大量に舞っている場所で使用しないでください。
 - ・ 火災の原因となります。
3. 以下のものは吸わせないでください。

引火性物質

- ・ 油類（灯油・ガソリンなど）
- ・ 溶剤（ベンジン、シンナーなど）
- ・ マッチ、線香、ろうそく、熱い灰など火のついているもの、たばこの吸殻などの煙の出ているもの、および高熱のものなど
- ・ トナーなどの可燃物
- ・ 塗料
- ・ 金属の切断作業および研削作業中に発生する研削火花や金属粉など
- ・ 可燃性ガス（スプレーなど）
- ・ じゅうたん洗浄剤などの泡状のものなど

爆発性物質

- ・ ニトログリセリンなど

発火性物質

- ・ アルミニウム・マグネシウム・チタン・亜鉛・赤リン・黄リン・セルロイドやそのほか化学物質など、およびそれらの粉じん・ガス・蒸気

鋭利なもの（ガラス、刃物、木片、金属、石、釘、カミソリ、押しピンなど）

固化するものや導電性の微粉（金属粉・カーボン）

除湿剤

大量の粉末（小麦粉、消火器の粉など）

中毒症状を起こす物質

薬品類

液体や湿ったゴミ

動物などの排泄物、吐しゃ物

4. 排気口をふさがないでください。
 - ・ モーターが焼損し、火災の原因になります。
5. 本機を倒したり、横倒しの状態で使用しないでください。
 - ・ 感電や故障の原因になります。
6. 作業中は、ホースや背負っている本機の位置や周りの環境に注意してください。
 - ・ 構造物に当たったり、引っかけるなど転倒の恐れがあります。また、他人に当たるとけがをさせる恐れがあります。

⚠ 警告

7. 転倒などによる本機の変形、破損防止のため、本機は静かに移動してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
8. 誤って落したり、ぶつけたときは、本機などに破損や亀裂、変形がないことを点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

⚠ 注意

1. 吸込口をふさいで運転しないでください。
 - ・ 過熱による本機の変形の原因になります。
2. 火気に近づけないでください。
 - ・ 本機の変形の原因になります。
3. フィルタは正しくセットして使用してください。フィルタをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れたフィルタを使用したりしないでください。
 - ・ モータ焼損など、故障の原因になります。
4. 紙パックは正しくセットして使用してください。紙パックをはずしたまま使用したり、取り付け位置を誤ったまま使用したり、破れた紙パックを使用したりしないでください。
 - ・ 粉じんが漏れ、作業者が吸い込む恐れがあります。また、モータが発熱して火災の原因になります。
5. 紙パックにゴミが大量にたまったまま使用しないでください。
 - ・ 粉じんが漏れ、作業者が吸い込む恐れがあります。

ワイヤレスユニットの使用上のご注意

JPC001-2

- ・ ワイヤレスユニットが集じん機に内蔵されている場合、ワイヤレスユニットは取りはずすことができません。無理に分解などして取り出さないでください。

⚠ 警告

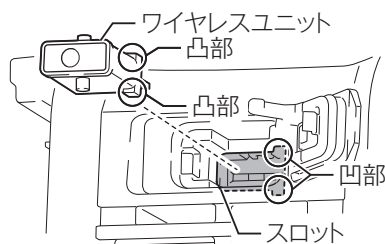
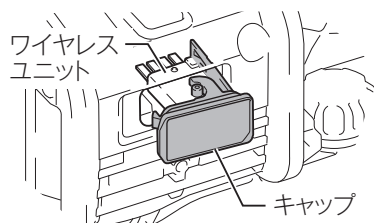
1. バッテリーが挿入されている状態で、工具からワイヤレスユニットを取りはずさないでください。故障の原因となります。
2. ワイヤレスユニットは、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。従って、ワイヤレスユニットを使用するときに無線局の免許は必要ありません。
3. ワイヤレスユニットを分解、改造しないでください。
4. ワイヤレスユニットを水にぬらさないでください。
5. ワイヤレスユニットは 50℃ を超える環境下で使用しないでください。
6. ワイヤレスユニットは精密機械です。強い衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
7. ワイヤレスユニットの金属端子を手や金属で触れないでください。
8. ワイヤレスユニットはマキタ製の無線連動対応した工具以外で使用しないでください。
9. 乳幼児の手の届く場所に置かないでください。誤って飲み込んだ際は、直ちに医師の診断を受けてください。
10. 静電気や電気ノイズが発生する場所で使用や保管をしないでください。
11. 車内など、高温になる場所や直射日光が当たる場所に置かないでください。
 - ・ 急激な温度変化は結露の原因になります。結露した場合は乾くまで使用しないでください。
12. 湿度の高い場所、ほこりや粉じんが多い場所、腐食性のガスが発生する所で使用や保管をしないでください。
13. ワイヤレスユニットを取りはずして保管する際は付属のケースまたは静電気対策された袋などに入れて保管してください。
14. 無線連動ボタンを必要以上に強く押したり、先端の尖ったもので押したりしないでください。
15. ワイヤレスユニットが汚れた際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジンやシンナーなどの揮発性の薬品、接点グリスなどは使用しないでください。
16. 心臓ペースメーカーなどの医療機器の近くで無線連動機能を使用しないでください。
17. 自動制御機器などの近くで使用すると誤作動の恐れがあります。
18. 複数のワイヤレスユニットの機器登録は 1 台ずつ行ってください。
19. 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付けければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。

⚠ 警告

20. 機器登録済みのワイヤレスユニットを取り付けた複数の工具をお使いの際は、無線連動機能を使用する工具以外は無線連動を OFF にしてください。
 - ・ 工具のスイッチを切っても集じん機が動き続けたり、不意に集じん機が動き出す原因になります。
21. 無線連動の有効距離は約 10 m です。ただし、工具と集じん機の間には障害物などがあると有効距離が短くなる場合があります。
22. 無線連動機能を使用する場合は、ご使用前に集じん機と工具が連動することを確認してください。
 - ・ 連動できない状態で使用すると、工具から漏れ出した粉じんを作業者が吸い込む恐れがあります。

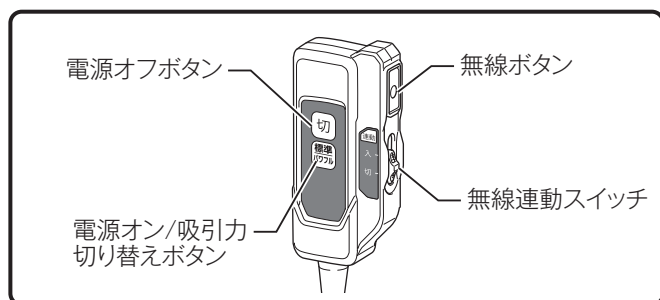
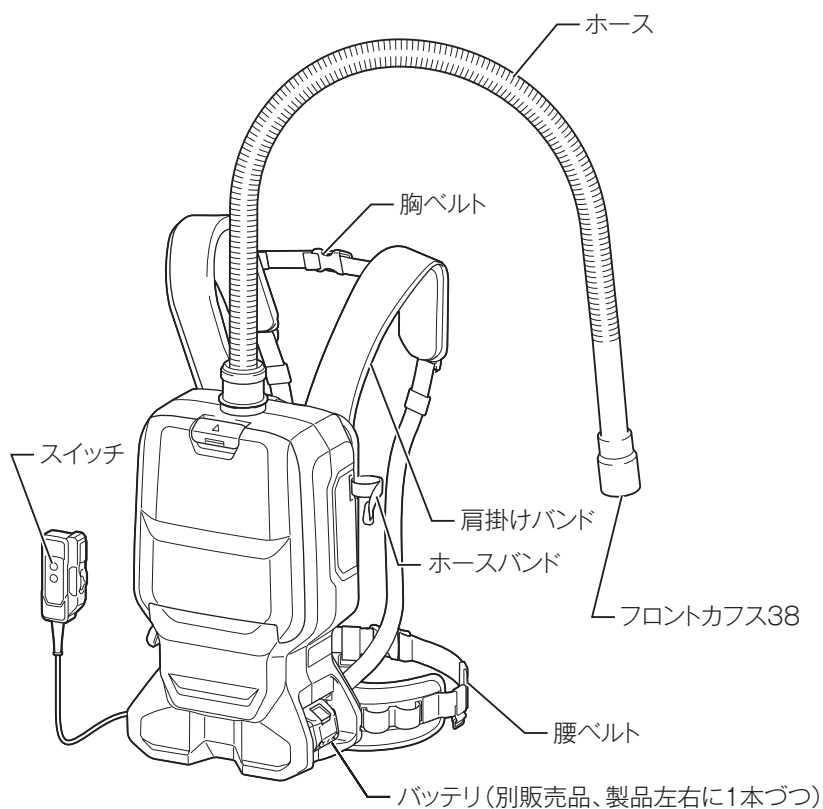
⚠ 注意

- ・ ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの際は必ずバッテリーを抜いてから行ってください。
- ・ ワイヤレスユニットの取り付け、取りはずしの方法については使用する工具の取扱説明書を合わせて参照してください。
- ・ 工具側のキャップをあける際、キャップ周辺に粉じんや水が付着していたときはきれいに取り除いてから、あけてください。
- ・ スロットに粉じんや水が入らない環境で行ってください。もしスロットに粉じんや水が付着しているときは、きれいに取り除いてください。
- ・ ワイヤレスユニットの凸部とスロットの凹部を合わせて取り付けてください。
- ・ ワイヤレスユニットとスロットの形状が合わない向きで無理に挿し込まないでください。
- ・ キャップが開いた状態で使用しないでください。



※イラストは参考例です。製品によりスロットの位置、その他デザインが異なりますのでご了承ください。

各部の名称



標準付属品

標準付属品	モデル	VC665DZ
ホース（内径 28 mm × 1.5 m）		○
フロントカフス 38（ホース取り付け）		○
フロントカフス 22		○
フィルタ（本製品取り付け）		○
ホースバンド（本製品取り付け）		○
紙パック（本製品取り付け）		○
紙パック（10 枚入り）		○

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ バッテリー BL1815N（容量 1.5 Ah）
部品番号：A-60311
- ・ バッテリー BL1820B（容量 2.0 Ah）
部品番号：A-61715
- ・ バッテリー BL1830B（容量 3.0 Ah）
部品番号：A-60442
- ・ バッテリー BL1850B（容量 5.0 Ah）
部品番号：A-59900
- ・ バッテリー BL1860B（容量 6.0 Ah）
部品番号：A-60464
- ・ 紙パックセット品（10 枚入り）
部品番号：A-70007
- ・ ダストバッグアッセンブリ
部品番号：A-70013
- ・ HEPA フィルタ
部品番号：A-69995
- ・ WUT01（ワイヤレスユニット）
部品番号：A-66151
※無線連動機能を使うためには、ワイヤレスユニットが必要です。

バッテリー（別販売品）について

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります（スイッチを操作すると本製品は動く恐れがありますので注意してください）。ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本製品からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリー（別販売品）について

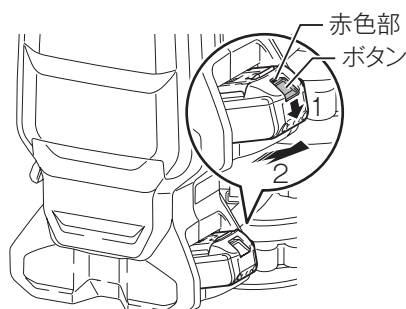
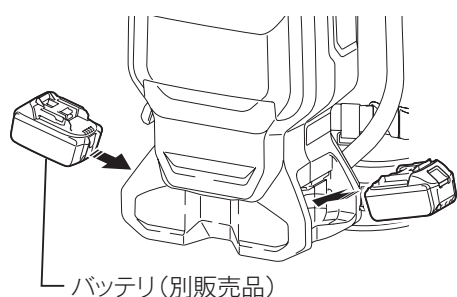
バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

- ・ バッテリーを本製品から取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを下げながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本製品の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



注

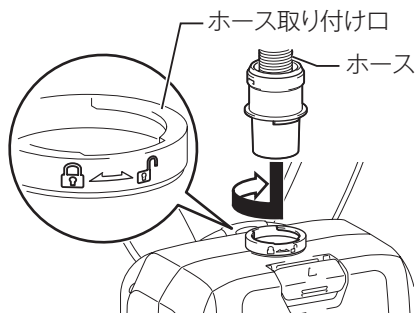
- ・ 必ず充電済みのバッテリー 2 本を取り付けてください。
- ・ バッテリーが 1 本の場合やバッテリー 2 本のうち片方が充電されていない場合は電源が入りません。

本製品の装着

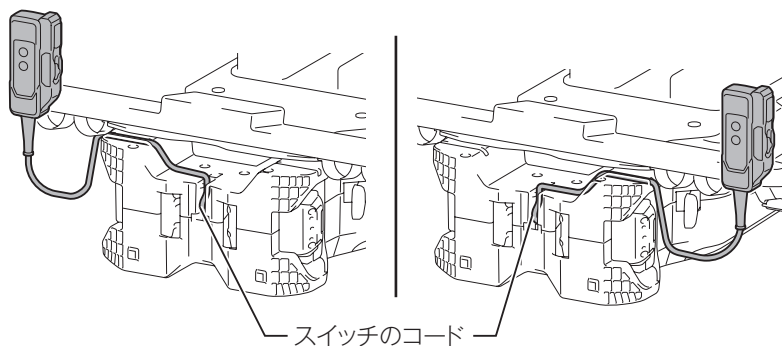
⚠ 注意

装着前に、バッテリーがしっかり固定されていることを確認してください。

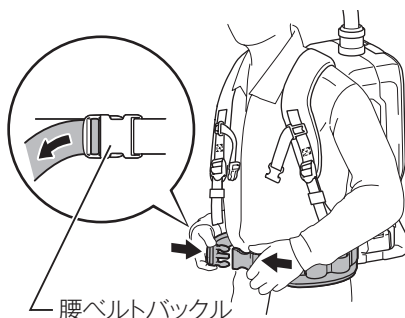
1. ホース取り付け口にホースを挿入し、右方向に止まるまで回して固定します。



2. 本製品底面の溝にスイッチのコードをはめ込み、コードがたれ下がらないように固定します。左右どちらにも取り付けことができます。

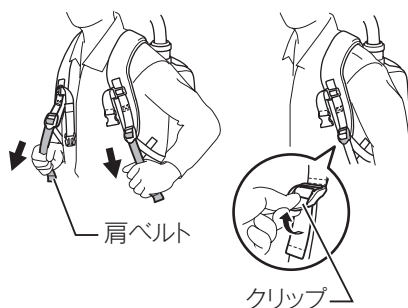


3. 本製品を背負い、腰ベルトのバックルをはめて長さを調整します。

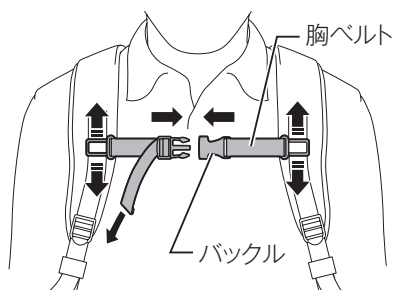


本製品の装着

4. 肩ベルトの長さを調整します（肩ベルトをゆるめるときは、クリップを図のように持ち上げます）。



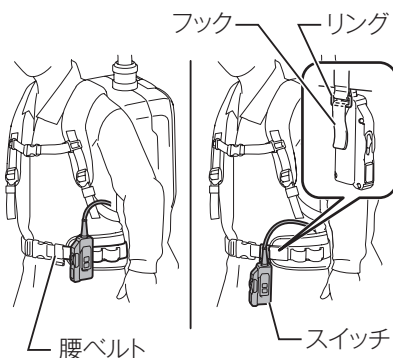
5. 胸ベルトの上下位置を調整します。
6. バックルをはめ、長さを調整します。



注

- ・ 腰ベルトがゆるんだり、はずれたりした状態で使用しないでください。
 - ・ 事故やけがの原因になります。

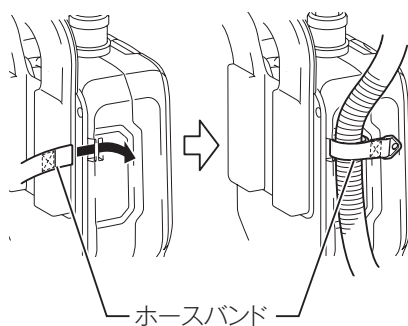
7. スイッチを腰ベルトに差し込んで固定します。
また、スイッチのフックを腰ベルトのリングに掛けることで落ちにくくなります。



本製品の装着

ホースバンドの使い方

- ・ ホースバンドでホースを本製品に固定することができます（ホースバンドは本製品の左右どちらにも取り付けが可能です）。



電動工具との接続

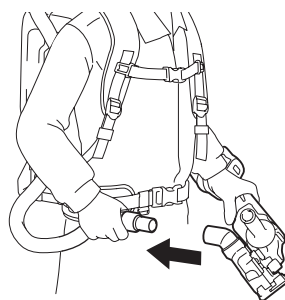
⚠ 警告

本製品を電動工具に接続する際は、本製品のスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。また、電動工具もスイッチを切り、バッテリーを抜くか、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。

- ・ 工具が急に動きだし、事故の原因になります。

ホースの接続

- ・ ホースに電動工具の粉じん排出口を接続します。

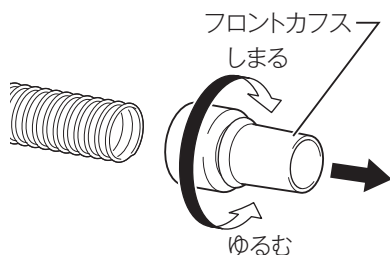


注

- ・ ホースを無理に曲げたり、踏みつけたりしないでください。また、ホースを引っ張って本製品を移動させたりしないでください。
 - ・ ホースの変形や破損などの原因になります。

フロントカフスの交換

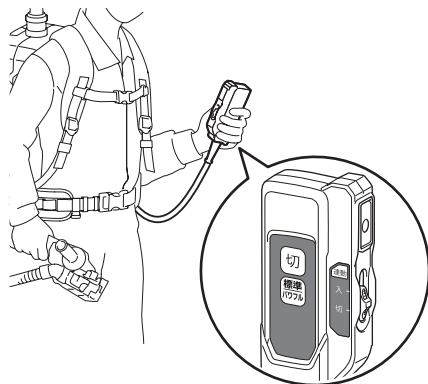
- ・ 電動工具の粉じん排出口の大きさに合わせて、フロントカフスを取り替えてご使用ください。
- ・ 取りはずす場合は、ホースを持ってフロントカフスを回せば取りはずせます。
- ・ 取り付ける場合は、止まるまでホースにねじ込んでください。



スイッチの操作

無線連動しない場合のスイッチの操作

- ・ スイッチは、を押すと入ります。
- ・ を押すたびに、風量が「パワフル」・「標準」と交互に切り替わります。
- ・ スイッチは、いずれの風量でも を押すと切れます。
- ・ 本製品には風量モードを記憶する機能がついています。スイッチを入れたら、スイッチを切ったときの風量で始動します。



無線連動する場合のスイッチの操作

- ・ 無線連動の利用方法は 27 ページを参照してください。
- ・ 無線連動にて運転している時に、を押すと、風量が「パワフル」・「標準」と交互に切り替わります。
- ・ 無線連動時も風量モードを記憶します。無線連動を停止し、再び無線連動すると停止時の風量モードで始動します。

無線連動機能（1/9）

Bluetooth® について



Bluetooth のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、マキタはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他の商標および商号は、それぞれの所有者に帰属します。

ワイヤレスユニット（A-66151）の取り付け・取りはずし方

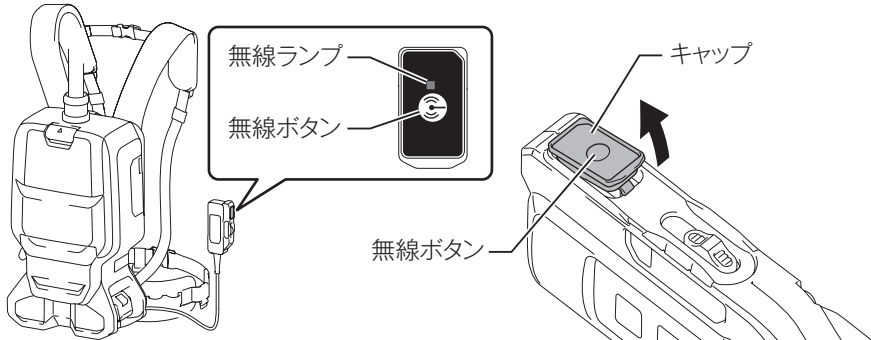
- 無線連動機能を使うためには、工具にワイヤレスユニットを取り付ける必要があります。

注

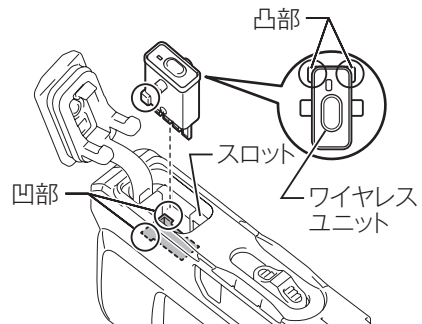
- ワイヤレスユニット取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを抜いてください。
 - バッテリーを差したまま行くと、ワイヤレスユニットの故障原因になります。

取り付け方

1. キャップを開きます。



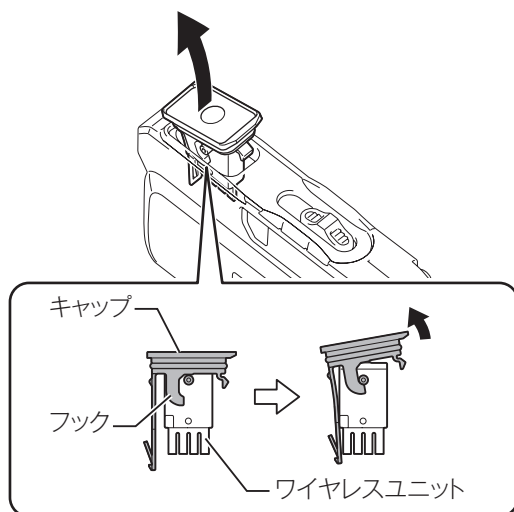
2. ワイヤレスユニットの凸部をスロットの凹部に合わせて挿入します。
3. キャップを閉じます。キャップがしっかりと閉まっていることを確認してください。



無線連動機能（2/9）

取りはずし方

1. キャップを開きます。
 - ・ キャップのフックがワイヤレスユニットを引き出します。



2. ワイヤレスユニットを取り出して、専用ケースに保管します。
3. キャップを閉じます。

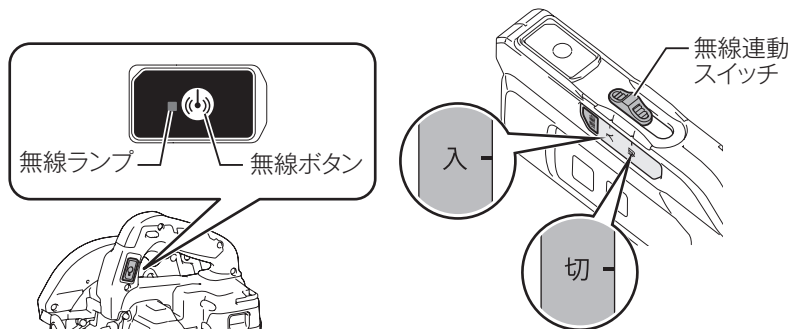
注

- ・ キャップは使用時も保管時も閉じておいてください。粉じんなどが入り、故障の原因になります。

無線連動機能（3/9）

別紙「簡易マニュアル」と集じん機取扱説明書も併せてご覧ください。

- ・ 無線連動機能を利用するには、ワイヤレスユニットが搭載されたマキタ製工具と集じん機が必要です。
- ・ 機器登録 / 登録解除の前に工具にワイヤレスユニットが取り付けられていることを確認してください。
- ・ 機器登録 / 登録解除をするときは、工具と集じん機の無線ランプの状態が確認できるように設置してください。



無線連動の準備

1. 集じん機の無線連動スイッチを「入」の位置にして電源を入れます。集じん機の無線ランプが青色点滅をして待機状態であることをお知らせします。「切」の位置にすると電源が切れます。
2. 無線連動させる工具の電源を入れ、無線ボタンを押します。工具の無線ランプが青色点滅をして待機状態であることをお知らせします。

無線連動

1. 無線連動させる工具には、以下のどちらかを行います。
 - ①工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に機器登録をする。
(28 ページ参照)
 - ②機器登録をしたワイヤレスユニットを取り付ける。
2. 工具のスイッチを入れると集じん機が無線連動して集じんを行います。無線連動中は、集じん機と工具の無線ランプが青色点灯に変わります。

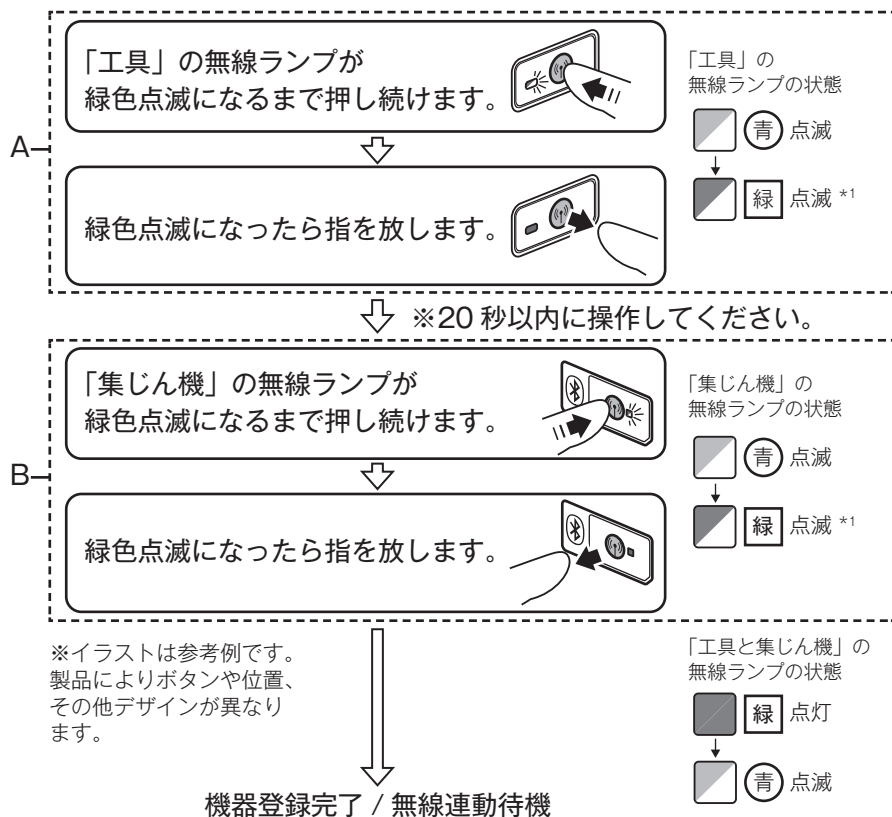
注

- ・ 無線連動スイッチが「入」の位置でも、操作スイッチで運転 / 停止ができます。ただし、無線連動運転中は操作スイッチでの停止はできません。
- ・ 工具のスイッチが入ったことを検知してから集じん機に発信するため、集じん機の始動は少し遅れます。
- ・ 工具のスイッチを切った後も、集じん機はホース内のゴミを吸い込むために数秒間運転してから停止します。

無線連動機能（4/9）

機器登録

- 無線連動させる工具に取り付けたワイヤレスユニットを集じん機に登録します。
- 機器登録済みのワイヤレスユニットを工具に取り付ければ、使用するたびに機器登録をする必要はありません。
- 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- 操作前に無線連動の準備をします（27 ページ参照）。



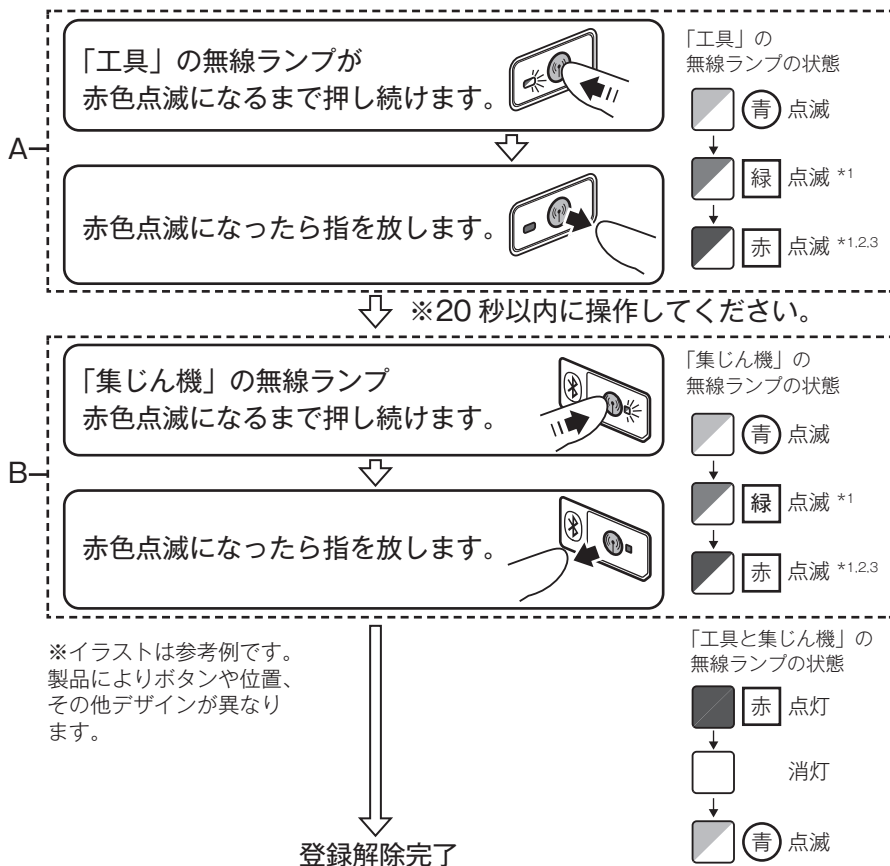
注

- A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- *1：無線ランプが緑色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- 最大 10 個のワイヤレスユニットまで機器登録できます。10 個を超えた場合は上書きされるため、最も古い登録情報が解除されます。

無線連動機能 (5/9)

登録解除

- ・ 記憶している工具との機器登録を個別で解除します。
- ・ 操作は工具と集じん機の両方で行います。
- ・ 操作前に無線連動の準備をします (27 ページ参照)。



注

- ・ A の操作と B の操作はどちらを先にしてもかまいませんが、必ず 20 秒以内に次の操作を行ってください。
- ・ *1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ *2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- ・ *3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

無線連動機能 (6/9)

登録全消去

- ・ 記憶している工具との機器登録をすべて消去します。
- ・ 操作は集じん機のみで行います。
- ・ 操作前に無線連動の準備をします (27 ページ参照)。

「集じん機」の無線ランプが
赤色点滅になるまで押し続けます。



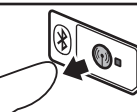
「集じん機」の
無線ランプの状態

 青 点滅

 緑 点滅 *1

 赤 点滅 *1,2,3

赤色点滅になったら指を放します。

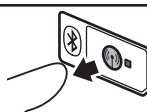


赤色点滅が速くなるまで、再び
押し続けます。



 赤 速い
点滅

赤色点滅が速くなったら指を
放します。



 赤 点灯

 消灯

 青 点滅

※イラストは参考例です。
製品によりボタンや位置、
その他デザインが異なり
ます。

登録全消去完了

注

- ・ *1：無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。
- ・ *2：無線ランプが赤色に点滅しない場合は、一度無線ボタンを短く押してからやり直してください（青色点滅に戻ります）。
- ・ *3：赤色の点滅は約 20 秒で終了します。点滅が終了した場合は、再び赤色の点滅になるまで無線ボタンを押し続けてください。

無線連動機能（7/9）

無線ランプについて

基本モード	色	点灯 / 点滅と継続時間		状態
待機	青	点滅	集じん機：「入」時	機器登録の待機中です。
			工具：電源を入れ、無線ボタンを押したとき	
			機器登録の完了後	無線連動の待機状態です。
			工具：約 2 時間	無線連動機能が利用できます。無操作の状態が 2 時間続くと消灯し、無線連動機能停止します。
		点灯	運転中のみ	無線連動機能中です。
機器登録	緑	点滅	約 20 秒間	機器登録の準備中です。登録する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。
		点灯	約 2 秒間	機器登録が完了しました。その後、青色の点滅になります。
登録解除・登録全消去	赤	遅い点滅（2 回 / 秒）	約 20 秒間	登録解除の準備中です。登録解除する工具（ワイヤレスユニット）を探しています。
		早い点滅（5 回 / 秒）	赤色の点滅後に、再び無線ボタンを押し続けたとき	登録した工具（ワイヤレスユニット）を全消去する準備ができました。
		点灯	約 2 秒間	登録全消去が完了しました。その後、青色の点滅になります。
その他	赤	点灯	約 3 秒間	無線連動機能の起動中です。
	消灯	—	—	無線連動機能が停止しています。

注

- 無線ランプが緑色や赤色で点滅しているときは、もう一度無線ボタンを短く押すことで操作をキャンセルできます。

無線連動機能（8/9）

トラブルシューティング

症状	原因		対策
無線ランプが点灯 / 点滅しない。	工具	電源が入っていない。	電源を入れてください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押してください。 ⇒ 27 ページ参照
	集じん機	バッテリーが差してない。	バッテリーを差してください。
		集じん機のスイッチが「入」になっていない。	集じん機のスイッチを「入」にしてください。 ⇒ 27 ページ参照
	共通	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 25 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。
機器登録 / 登録解除ができない。	工具	電源が入っていない。	電源を入れてください。
		バッテリーが差してない。	バッテリーを差してください。
	集じん機	集じん機の無線連動スイッチが「入」になっていない。	集じん機の無線連動スイッチを「入」にしてください。⇒ 27 ページ参照
		ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 25 ページ参照
	共通	ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落として、取り付け直してください。
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。 ・ 機器登録⇒ 28 ページ参照 ・ 登録解除⇒ 29 ページ参照
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください（最大通信距離は約 10 m、周囲の環境によって変化します）。
		機器登録 / 登録解除の完了前に工具や集じん機のスイッチを入れた。	機器登録 / 登録解除を最初からやり直してください。 ・ 機器登録⇒ 28 ページ参照 ・ 登録解除⇒ 29 ページ参照
		集じん機、工具の片方のみの操作しかできていない。	集じん機と工具の両方を操作してください。
		その他	周囲に強い電波を発する機器がある。
			Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。

無線連動機能 (9/9)

症状	原因		対策
集じん機が動かない。	工具	電源が入っていない。	電源を入れてください。
		工具の無線ボタンを押していない。	工具の無線ボタンを押して青点滅になってから、スイッチを入れてください。
	集じん機	バッテリーが差してない。	バッテリーを差してください。
		集じん機の無線連動スイッチが「入」になっていない。	集じん機の無線連動スイッチを「入」にしてください。 ⇒ 27 ページ参照
		集じん機の機器登録が 10 台を超えたため、最も先に登録された機器が解除された。	再登録をしてください。 ・ 機器登録⇒ 28 ページ参照
		機器登録が全消去された。	再登録をしてください。 ・ 機器登録⇒ 28 ページ参照
	共通	ワイヤレスユニットが取り付けられていない、または取り付け方が間違っている。	ワイヤレスユニットを正しく取り付けてください。⇒ 25 ページ参照
		ワイヤレスユニットの端子や取り付け部分が汚れている。	ワイヤレスユニットの端子やスロットに付いたほこりや汚れを落とし、取り付け直してください。
		工具と集じん機が離れすぎている。	工具と集じん機を近づけて操作してください（最大通信距離は約 10 m、周囲の環境によって変化します）。
		バッテリーの容量が少ない。	バッテリーを充電してください。
	その他	周囲に強い電波を発する機器がある。	Wi-Fi 機器や電子レンジなどの電波を発する機器から離して操作してください。
工具のスイッチを操作しないときに、集じん機が動く。	集じん機	機器登録したほかの工具が集じん機と無線連動している。	・ 使用しない工具の無線連動を解除してください。⇒ 29 ページ参照 ・ 登録全消去を行い、必要な工具の機器登録を行ってください。 ・ 登録全消去⇒ 30 ページ参照 ・ 機器登録⇒ 28 ページ参照
登録全消去ができない。	工具	工具側を操作している。	登録全消去は集じん機のみで行えます。⇒ 30 ページ参照
	集じん機	無線連動スイッチが「入」になっていない。	集じん機の無線連動スイッチを「入」にしてください。 ⇒ 27 ページ参照
		操作手順の間違い。	無線ボタンを短く押してからやり直してください。⇒ 30 ページ参照

- ・ 上記の対策をお試しになっても解決しない場合は、故障が考えられます。お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

フィルタについて

⚠ 警告

フィルタの取りはずし・取り付け・お手入れの際には必ずスイッチを切り、本製品からバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品にバッテリーを差したまま行くと、事故の原因になります。

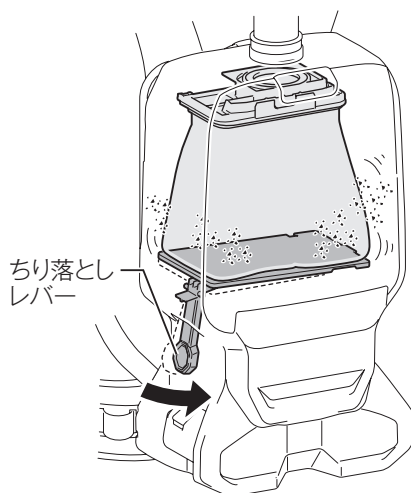
フィルタを取りはずしたまま本製品を使用しないでください。またフィルタが破損していたり、汚れたまま使用しないでください。

⚠ 注意

フィルタは定期的に掃除することで吸引力を維持できたり、排気が汚れにくくなります。フィルタを掃除しても十分な吸引力が発揮されないときは新しいフィルタに交換してください。

ちり落とし機能

- ・ 本製品の側面にちり落とし用のレバーがあります。
- ・ ちり落としレバーを操作することで、フィルタに付着した汚れを落とし、吸引力を回復させることができます。



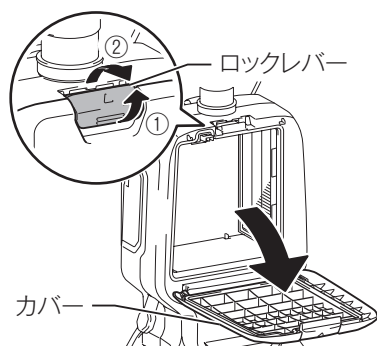
注

- ・ ちり落とし機能を使用しても十分な吸引力が発揮されないときは、ゴミを捨て、フィルタを掃除してください。

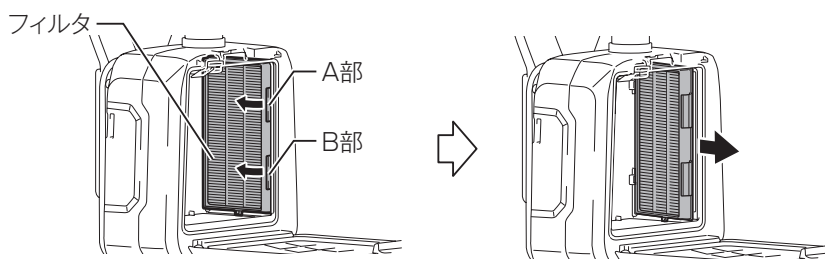
フィルタについて

フィルタの取りはずし方・取り付け方

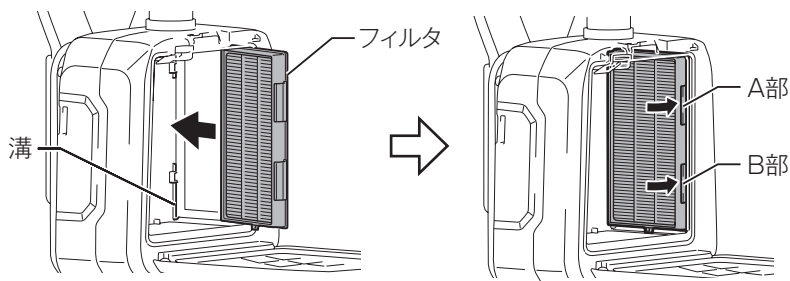
1. ロックレバーを①→②の手順で操作して、カバーを開きます。



2. フィルタの A 部と B 部を押し上げ、手前に引き抜きます。



3. フィルタに付着したゴミを捨ててください(※フィルタのお手入れ 36 ページを参照してください)。
4. フィルタを図の向きにして、左側を溝に差し込みます。フィルタの A 部と B 部をしっかりと押し込みます。



5. カバーを確実に閉じます。

注

- ・ フィルタやカバーが確実に固定されていることを確認してください。

フィルタについて

フィルタのお手入れ

※フィルタの取りはずし方は、35 ページを参照してください。

- ・ フィルタの目詰まりは吸引力を著しく低下させますので、フィルタに付着したほこりはこまめに取り除いてください。
- ・ 取りはずしたフィルタは全体を手で軽くはたいてください。
- ・ フィルタは水洗いができますので定期的（1 ～ 2 ヶ月毎）に粉じんを水で洗い流してください。水洗い後は陰干して完全に乾燥させてからご使用ください。

注

- ・ フィルタは消耗品ですので、予備品を準備されることをおすすめします。
- ・ 金属ブラシ、ヘラなどの硬いものでフィルタをこすってキズを付けないようにしてください。また、フィルタをエアブローや高圧洗浄機で掃除をしないでください。フィルタが破損し、HEPA フィルタとしての能力を損なう可能性があります。破損したフィルタを使用すると粉じんなどが内部に入り込み、故障の原因になります。

紙パックおよびダストバッグ（別販売品）について

⚠ 警告

紙パックやダストバッグの取りはずし・取り付けの際には必ずスイッチを切り、本製品からバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品にバッテリーを差したまま行くと、事故の原因になります。

破損した紙パックやダストバッグは使用しないでください。

紙パックは使い捨てです。ゴミがたまりましたら紙パックごと捨ててください。

- ・ 再使用はしないでください。目詰まりを起こして吸引力を落とします。

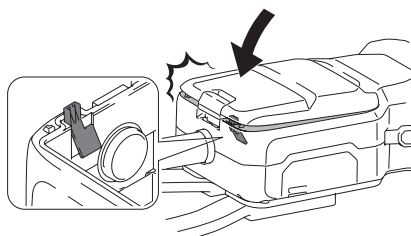
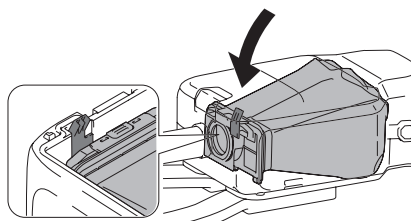
ダストバッグは洗浄して繰り返し使用できます。

本製品は、紙パックまたは別販売品のダストバッグを必ず取り付けて使用してください。

- ・ 取りはずした状態ではカバーを閉じることができません。

紙パック・ダストバッグあり（閉まる）

紙パック・ダストバッグ無し（閉まらない）



⚠ 注意

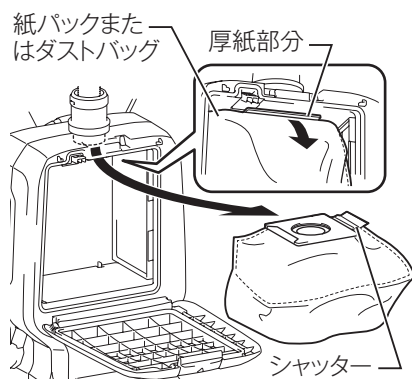
水などの液体、湿ったゴミを吸わせないでください。

- ・ モーターの故障の原因になります。

紙パックおよびダストバッグ（別販売品）について

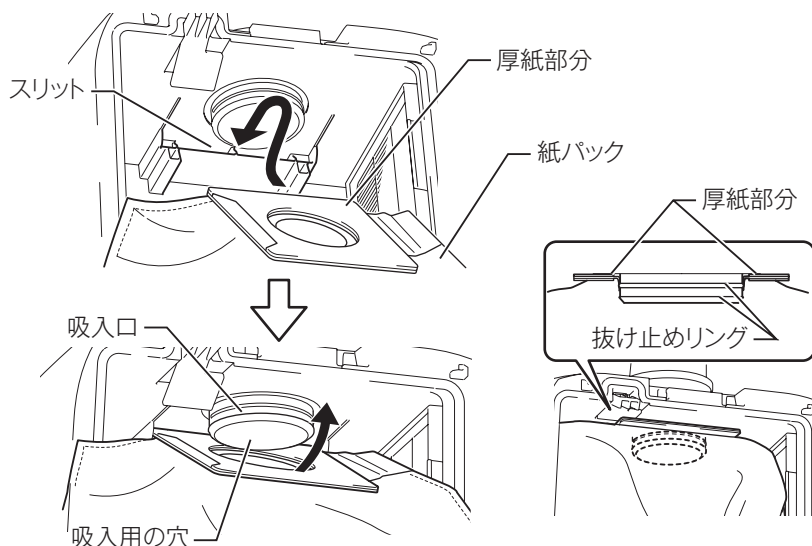
紙パックの交換方法

1. カバーの開き方は、35 ページを参照してください。
2. 紙パックの厚紙部分を矢印方向に引き、抜け止めリングからはずして図のように取りはずします。



3. シャッターを引いてゴミがこぼれないようにして、紙パックごとゴミを捨てます。

4. 紙パックを広げて、厚紙部分をスリットに差し込み、吸入用の穴を本製品の吸入口に合わせます。
5. 紙パックの厚紙部分を吸入口の抜け止めリングより上側に奥まで、しっかり押し込みます。



6. 交換が完了したらカバーを確実に閉じます。

注

- ・ 紙パックやカバーが確実に固定されていることを確認してください。

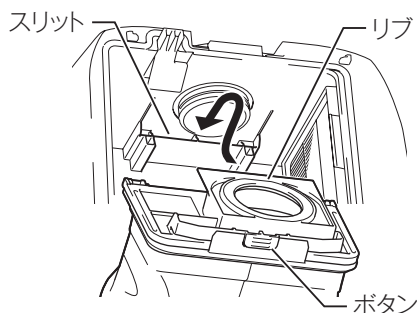
紙パックおよびダストバッグ（別販売品）について

ダストバッグの取り付け・取りはずし方

- ・取り付け、取りはずし方は紙パックと同様です。38 ページを参照してください。

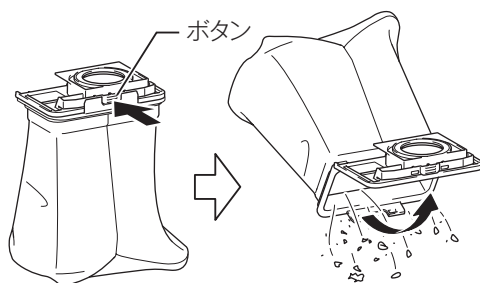
注

- ・取り付ける際は、ボタンが手前になるようにしてください。



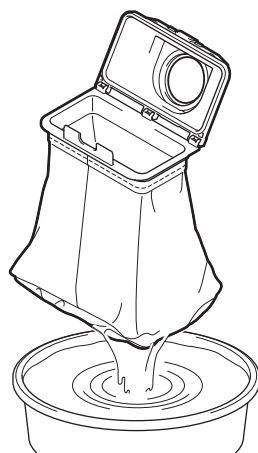
ダストバッグのゴミの捨て方

1. ボタンを押して、ダストバッグの口を開きます。
2. 内側にたまったゴミを捨て、軽くたたくようにしてダストバッグに付着したゴミを落とします。



注

- ・ゴミをためすぎると重くなり、袋が破れる恐れがありますので、ゴミはこまめに処分してください。
- ・ダストバッグは、ときどき薄めた中性洗剤でもみ洗いをし、よく乾燥させてからご使用ください。
 - ・乾燥が不十分のままご使用になりますと、吸じん力を低下させるばかりでなく、モータの寿命が低下する原因となります。



お手入れ

⚠ 警告

お手入れの際には必ずスイッチを切り、本製品からバッテリーを抜いてください。

- ・ 本製品にバッテリーを差したまま行くと、事故の原因になります。

フィルタ類を取りはずしたまま本製品を使用しないでください。またフィルタ類が破損していたり、汚れたまま使用しないでください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本製品内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

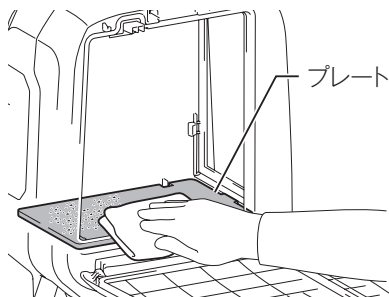
本製品のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤を付けた布できれいに拭いてください。

お手入れ

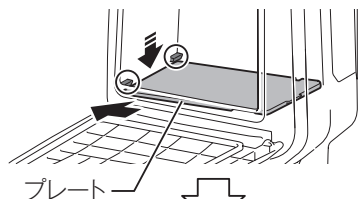
ダストボックス内のお手入れ

1. カバーを開け、フィルタ類をすべて取りはずします。
2. プレートをきれいに拭きとります。

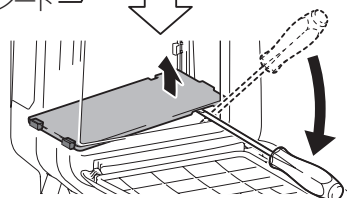


プレートの取りはずし方、取り付け方

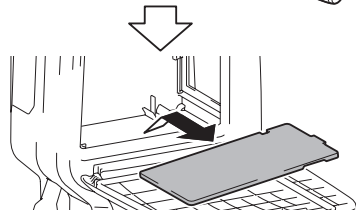
1. プレートを図のように左側面に押し当てます。



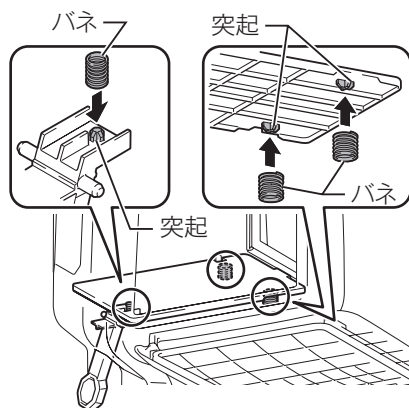
2. プレートの右側をマイナスドライバなどで持ち上げ、抜き取ってください。



3. プレートがあった箇所をきれい拭きとります。



4. プレートに2箇所、ちり落とし用のレバーに1箇所、バネが取り付けられています。
バネに付着した汚れを拭き取ったら、図のようにそれぞれの突起に取り付けます。

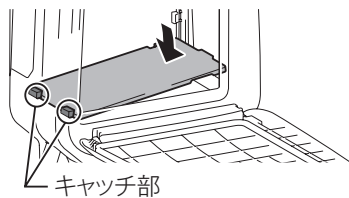


注

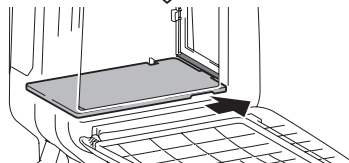
- バネは突起の底にあたるまで確実に取り付けてください。

お手入れ

5. プレートの側面がまっすぐの方を、図のように本製品左側面のキャッチ部にはめ込み、取り付けます。



6. 矢印方向にスライドしてください。



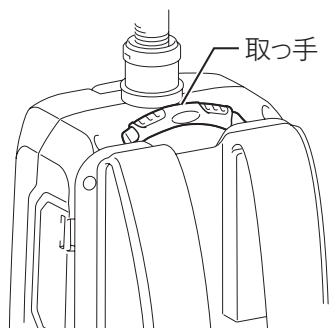
7. カバーを確実に閉じます。

注

- ・ ダストボックス内のお手入れ後は、ちり落とし機能が動作するか確認してください。

運搬・移動

- ・ 運搬・移動する場合は、取っ手を持ってください。



保護機能

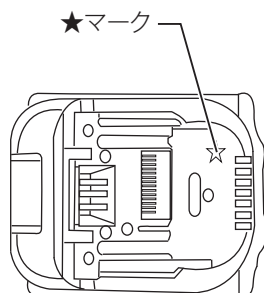
本製品およびバッテリーの保護機能

本製品を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能
・ バッテリーの温度が高温になるとモータが自動停止します。 ・ 使用を中断して本製品よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 ・ バッテリーを冷ましても本製品が動作しない場合は、本製品を冷ましてください。 ・ 本製品の温度が高温になるとモータが自動停止します。 ・ ホースにゴミが詰まったり、フィルタが目詰まりしたりするなど本製品に空気が流れない状態で使い続けると本製品が熱くなります。詰まったゴミを取り除き、本製品を冷ましてください。
・ バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 ・ 本製品よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。
・ 本製品が過負荷状態になるとモータが自動停止します。 ・ いったんスイッチを放し、本製品よりバッテリーを取りはずした後、過負荷の原因を取り除いてください。原因を取り除けば再びご使用になれます。

★マークについて

図のようにバッテリーに★マークがあるバッテリーは保護機能を搭載しています。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本製品が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本製品またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本製品を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 44 ページ参照。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。
- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881E35A8
IWT

株式会社 マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711（代表）